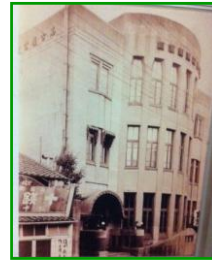


# 名古屋市図書館90年のあゆみ

年	年齢	名古屋市図書館のできごと	名古屋・世の中のできごと
1915 (大正4)		大正天皇御大典奉祝記念事業として、名古屋市中で市立図書館の建設案を可決 (5/18)	
1916 (大正5)		館名を「市立名古屋図書館」とし、鶴舞公園内に敷地を定め設立認可を受ける (9/20)	吉野作造が「民本主義」の論文を発表し、大正デモクラシーに影響を与える (1月)
1918 (大正7)			米騒動で多数の市民が鶴舞公園に集まる (8月)
1920 (大正9)			第1回国勢調査 (名古屋市は約43万人) (10月)
1922 (大正11)		矢田績が、財団法人名古屋公衆図書館の設立認可を受ける (12/23)	名古屋控訴院等庁舎 (現在の名古屋市市政資料館) が開庁 (10月)
1923 (大正12)	0	市立名古屋図書館で開館式 (9/28) <b>市立名古屋図書館が開館 (10/1)</b>	関東大震災 (9/1)
1924 (大正13)	1	市立名古屋図書館で館外貸出を開始 (4/1)	
1925 (大正14)	2	<b>財団法人名古屋公衆図書館が開館 (4/19)</b>	治安維持法が公布 (4/22) 普通選挙法が公布 (5/5)
1926 (大正15) (昭和1)	3		中川運河の開削工事を開始 (10/1) 大正天皇崩御 (12/25)
1929 (昭和4)	6	市立名古屋図書館に点字文庫開設 (9/16)	ニューヨーク株式市場大暴落 (世界恐慌へ) (10/24)
1933 (昭和8)	10		名古屋市役所本庁舎が完成 (9/6)
1937 (昭和12)	14		東山植物園・東山動物園が開園 (3月) 名古屋汎太平洋平和博覧会 (3月~5月) 蘆溝橋事件。日中戦争始まる (7/7)
1938 (昭和13)	15	市立名古屋図書館に傷痍 (しょうい) 軍人文庫ができ、市内の陸軍病院に本を配送する (9/13)	国家総動員法公布 (4/1)
1939 (昭和14)	16	財団法人名古屋公衆図書館、館外貸出を開始 (1/27) 財団法人名古屋公衆図書館、家庭訪問文庫を開設 (5/1) 財団法人名古屋公衆図書館が解散し、名古屋市に寄付される (8/31) <b>市立名古屋公衆図書館が開館 (9/6)</b>	第二次世界大戦が始まる (9/1)
1940 (昭和15)	17	名古屋公衆図書館の設立者・矢田績が亡くなる (3/25)	日独伊三国同盟 (9/27)
1941 (昭和16)	18		日ソ中立条約 (4/13) 真珠湾攻撃。太平洋戦争へ (12/8)
1942 (昭和17)	19	市立名古屋公衆図書館、隣組を対象に常会文庫を開設 (6月)	ミッドウェー海戦 (6月)
1945 (昭和20)	22	市立名古屋公衆図書館、空襲を受けるも必死の消火作業により焼失を免れる (2/19) 市立名古屋図書館、大空襲により、建物・蔵書12万冊が焼失 (3/19)	空襲により名古屋城天守・本丸御殿が焼失 (5/14) 広島と長崎に原爆投下 (8月) 日本が連合国に無条件降伏 (8/15)



市立名古屋図書館



名古屋公衆図書館

年	年齢	名古屋市図書館のできごと	名古屋・世の中のできごと
1946 (昭和21)	23	市立名古屋図書館、バラック建てで閲覧室を開設 (5/17)	日本国憲法公布 (11/3)
1947 (昭和22)	24		教育基本法・学校教育法公布 (3/31) 登呂遺跡の発掘を開始 (7/13)
1948 (昭和23)	25	名古屋市教育委員会が発足し、図書館は教育委員会所管となる (11/1)	福井地震 (6/28)
1949 (昭和24)	26		東山動物園見学のために「ソウ列車」が走る 社会教育法公布 (6/10) 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞 (11/3)
1950 (昭和25)	27	名古屋市図書館設置条例を制定 (10/20)	図書館法公布 (4/30) 朝鮮戦争勃発 (6/25)
1951 (昭和26)	28	市立名古屋図書館の復旧工事開始 (2/13) 図書館法17条の施行により、閲覧料を廃止する (4/1)	サンフランシスコ講和条約 (9/8)
1952 (昭和27)	29	市立名古屋図書館を名古屋市鶴舞(つま)図書館に、市立名古屋公共図書館を名古屋市栄図書館と改称 (8/1) 復旧工事が完成し、鶴舞図書館が開館 (10/1)	サンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約が発効 (4/28)
1954 (昭和29)	31		自衛隊法公布 (6/9) 名古屋テレビ塔が完成 (6/19)
1955 (昭和30)	32	栄図書館に児童図書選定協議会が発足 (12/16)	
1956 (昭和31)	33	栄図書館、地下鉄建設計画のため、南へ15メートル西へ4.6メートル移動する工事を行う (3月～) 栄図書館、巡回文庫(現、自動車図書館)を開設 (4/15) 栄図書館、移転改装記念式(閲覧室の拡大や休憩室、車庫等の増設) (11/3)	日本が国連に加盟 (12/18)
1957 (昭和32)	34		名古屋地下鉄1号線(名古屋～栄町)が開業 (11/15)
1959 (昭和34)	36	鶴舞図書館の増築工事が完成する (3/23)	愛知県文化会館愛知図書館が開館 (4/1) 伊勢湾台風が来襲 (9/26) 名古屋城天守閣を再建 (10/1)
1960 (昭和35)	37	<b>東邦ガスの寄付をもとに熱田図書館が開館 (9/1)</b>	新安全保障条約改定反対デモ (5月～6月)
1962 (昭和37)	39	栄図書館、小林橘川前市長の遺族より、巡回文庫自動車と圖書の寄贈を受ける (3/15)	名古屋市科学館が開館 (11/3)
1964 (昭和39)	41	鶴舞図書館を鶴舞中央図書館と改称。栄図書館・熱田図書館は分館となる (4/1) <b>田中均一郎氏の寄付により南図書館が開館 (5/1)</b>	東海道新幹線(東京～新大阪)が開業 (10/1)
1965 (昭和40)	42	<b>東図書館が徳川町に開館 (7/1)</b> <b>稲葉地配水塔を改修し中村図書館が開館 (7/15)</b> 栄図書館が休館 (7/16～) <b>栄図書館が西区に移転し、西図書館が開館</b> ・名古屋市児童図書選定協議会事務局を鶴舞中央図書館に移管 (11/1)	博物館明治村が開村 (3/18)



名古屋市鶴舞図書館



名古屋市熱田図書館



名古屋市中村図書館

年		年齢	名古屋市図書館のできごと	名古屋・世の中のできごと
1967	(昭和42)	44	港図書館が開館(4/27) 北図書館が開館(6/15)	
1968	(昭和43)	45	本市の図書館間での図書相互貸借を開始(7/1) 千種図書館が開館(10/8)	
1969	(昭和44)	46	名古屋市図書館協議会が発足(5/1) 瑞穂図書館が開館(8/1)	
1970	(昭和45)	47	中川図書館が開館(6/20)	
1971	(昭和46)	48	図書の返納窓口の共通化を開始(7/1)	
1972	(昭和47)	49	守山図書館が開館(8/10) 緑図書館が開館(8/12)	
1973	(昭和48)	51	南図書館に巡回文庫南基地を設置(6月)	
1975	(昭和50)	52	遅延料の徴収を廃止。休館日を月曜日に統一(6/1)	
1976	(昭和51)	53	名東図書館が開館(6/15)	
1977	(昭和52)	54	図書の郵送貸出・団体貸出を開始(4/1) 天白図書館が開館(11/18)	
1978	(昭和53)	55	名東図書館に巡回文庫を開設(12/1)	
1979	(昭和54)	56	中川図書館に巡回文庫を開設(10/1)	
1981	(昭和56)	58	鶴舞中央図書館の新館建設工事を開始(10/9)	
1983	(昭和58)	60	南図書館に巡回文庫の基地を設置(4/1)	
1984	(昭和59)	61	現在の鶴舞中央図書館が開館(4/6)	
1985	(昭和60)	62	巡回文庫を自動車図書館に改称(7/1)	
1989	(昭和64) (平成元)	66	友好都市の南京市金陵図書館と資料交換を開始(11月)	
1990	(平成2)	67		
1991	(平成3)	68	中村図書館が中村公園に移転し、現在の中村図書館が開館(5/31)	



名古屋市瑞穂図書館



名古屋市天白図書館



名古屋市鶴舞中央図書館

年	年齢	名古屋市図書館のできごと	名古屋・世の中のできごと
1992 (平成4)	69	<b>現在の南図書館が開館 (3/21)</b>	きんさん・ぎんさんが100歳に (8/1) 名古屋港水族館が開館 (10/29)
1993 (平成5)	70	個人貸出の対象を、愛知県内の在住在勤在学者に拡大 (6/1) 天白図書館・瑞穂図書館において図書館の不用図書リサイクル会を開催 (翌年より全館で実施) (12月)	Jリーグ発足 (4月)
1994 (平成6)	71	<b>現在の西図書館が開館 (6/1)</b> 鶴舞中央図書館にブックディテクションシステムを導入 (6/28)	名古屋空港で中華航空機事故 (4/26) 松本サリン事件 (6月)
1995 (平成7)	72		阪神淡路大震災 (1/17)
1996 (平成8)	73	全館にオンラインシステムを導入 (6/1)	ペルーのゲリラが日本大使公邸を襲撃 (12/17)
1997 (平成9)	74	図書の分類基準として使用する「日本十進分類法」について、第7版から第9版へ切替 (4月) <b>富田図書館が開館 (7/8)</b> <b>楠図書館が開館 (7/10)</b>	ナゴヤドーム開業 (3/15) 長野新幹線が開業 (10/1)
1998 (平成10)	75	重度身体障害者等に対するCDの郵送貸出を開始 (4/1)	冬季オリンピック長野大会 (2月)
1999 (平成11)	76	図書の館外貸出冊数を1人6冊以内 (自動車図書館は8冊以内) とする (4/1) <b>現在の港図書館が開館 (9/17)</b>	JRセントラルタワーズが完成 (12/20)
2000 (平成12)	77	<b>北図書館が移転し、現在の北図書館が開館 (6/30)</b>	東海豪雨により大規模な浸水被害 (9/11)
2001 (平成13)	78	図書館オンラインシステム更新 (1/4) 図書館ホームページを開設 (6/1) <b>熱田図書館が移転し、現在の熱田図書館が開館 (10/9)</b> <b>東図書館がカルポート東に移転し、現在の東図書館が開館 (10/26)</b>	アメリカで同時多発テロ (9/11)
2002 (平成14)	79	分館の開館時間を、火～土は午後7時までまでに延長する (4/1) <b>南陽図書館が開館 (7/12)</b> 中川自動車図書館を廃止 (10/31) <b>中川図書館が移転し、現在の中川図書館が開館 (11/1)</b>	サッカー日韓W杯開幕 (5/31) 小泉首相、北朝鮮を訪問 (9/17) オアシス21が開業 (10/11) 藤前干潟がラムサール条約に登録される (11/18)
2003 (平成15)	80	祝日開館を開始し、土日祝の閉館を午後5時に統一 (10/1)	米・英によるイラク戦争が始まる (3月)
2004 (平成16)	81	名東自動車図書館を廃止 (3/31) <b>志段味図書館が開館 (7/15)</b>	名古屋高速鉄道あおなみ線が開業 (10/6)



名古屋市港図書館



名古屋市南陽図書館



名古屋市志段味図書館

年	年齢	名古屋市図書館のできごと	名古屋・世の中のできごと
2005 (平成17)	82	山田図書館が開館 (5/6)	中部国際空港が開港 (2/17) 愛知万博 (3月～9月)
2006 (平成18)	83	ホームページ「こどもページ」を開設 (4/18)	耐震偽装事件 (4月)
2007 (平成19)	84	西自動車図書館を廃止 (3/31) 「名古屋市子ども読書活動推進計画」を策定 (4/23)	サブプライムローン問題 (6月)
2008 (平成20)	85	図書館オンラインシステムを更新 (1/4) 図書館ホームページをリニューアル。携帯サイト・情報ダイヤルサービスを開設 (4/1)	北京オリンピック (8月) リーマンブラザーズが経営破綻 (9月)
2009 (平成21)	86	北図書館で窓口等業務委託をモデル実施 (4/1) インターネットでの図書予約受付を開始。図書予約受付冊数が6冊になる (6/2) 「名古屋市図書館中期計画」を策定 (6月)	裁判員制度が始まる (5/21)
2010 (平成22)	87	名東図書館・港図書館で窓口等業務委託をモデル実施 (4/1) インターネットでの雑誌・視聴覚資料の予約受付を開始 (視聴覚1点まで) (4/6) <b>徳重図書館が開館 (5/6)</b>	名古屋開府400年 上海万博 (5月～10月) 小惑星イトカワから「はやぶさ」が帰還 (6/13) 第10回生物多様性条約締約国会議を名古屋で開催 (10月)
2011 (平成23)	88	点字文庫、録音図書の利用対象を「視覚による表現の認識に障害のある者」に拡大 (4/1) 視聴覚資料の予約受付点数を3点までとする (4/5) ほんシェルジュサービスを開始 (10/27)	東日本大震災が発生 (3/11) なでしこジャパンがサッカー女子ワールドカップで世界一 (7/17)
2012 (平成24)	89	点字文庫ホームページを開設 (1/30) 守山・東・瑞穂・緑・中川図書館に窓口業務委託を導入 (4/1) 開館を9時30分に繰り上げ、土曜日(祝日をのぞく)の開館を午後7時まで延長 (4/1) 鶴舞中央図書館、夏休み期間の全日開館を実施 (7月～8月) 読書フェスティバル開催 (11/3)	東京スカイツリーが開業 (5/22) ロンドンオリンピック (7月～8月)
2013 (平成25)	90	「第2次名古屋市子ども読書活動推進計画」を策定 (2月) 志段味図書館に指定管理者制度を試行導入 (4/1) 熱田図書館に窓口業務委託を導入 (4/1) <b>市立名古屋図書館開館から90年 (10/1)</b>	



名古屋市山田図書館



名古屋市徳重図書館

【主な参考資料】 『名古屋市鶴舞中央図書館七十年史』 (名古屋市鶴舞中央図書館)  
『栄図書館40年誌』 (名古屋市栄図書館)  
『名古屋市立図書館年報 平成24年版』 (名古屋市鶴舞中央図書館)  
『新修名古屋市史 第10巻』 (名古屋市)